

①ハンデ56キロ以上「1219」 (右下は過去0年の成績)

「6010」。小柄馬だけに
トップハンドが果頃。

中山の重賞は②①③③。

勝ち（フラワーC）。近走も着順ほど内容悪くない。

賞2勝

たが、近走の不振は気
千八は切れて。

ニューヨークは前走で重明(3キ)。上がり34

ルは②着の昨年と同
年は中山金杯④

日刊競馬ネット新聞 《中央競馬版》 第2回中山5日目 2022年3月12日(土)

中山

11

発走

15:45

『各予想者の〔◎〕印に注目』
予想欄の“◎”印は、各スタッフ
が一日1頭厳選したもので、「その
一番買いたい馬」を示しています。

これで
勝負

使つて良化型 4歳クール
キャットの前走の内容は悪くない。勝った52キロのルビー一カラサヌンカと0秒差だった。昨年3月、中山1800mのフラワーキング(0秒3差)があり、コースにも距離にも死角はない。復調した成長力に期待する。大戸アブノーブ本線。

日刊競馬解説者
柏木集采

これまで高配当を演出します。

千通過56秒8と超ハイペースのターコイズS。差し・追い込み勢が上位を占める中、先行勢で直線ひと伸びを見せたジュランビル。止まらない末脚が持ち味の馬。逃げ馬複数でスローハーなく、この距離なら3〜4

BSハイレベル解説者
小木曾

